

---

# Isabelle/HOL による証明と プログラミング

～ PPL サマースクール 2017 ～

---

山田晃久 (University of Innsbruck)

---

# インストールはお済ですか？

## ■ Isabelle の入手先

- <http://isabelle.in.tum.de/>

- 開発バージョン:

  - hg clone <http://isabelle.in.tum.de/repos/isabelle>

## ■ 起動しておいてください

- ライブラリがビルド (証明チェック) される

- 一度ビルドしておけば (ライブラリのソースを更新するまで)有効

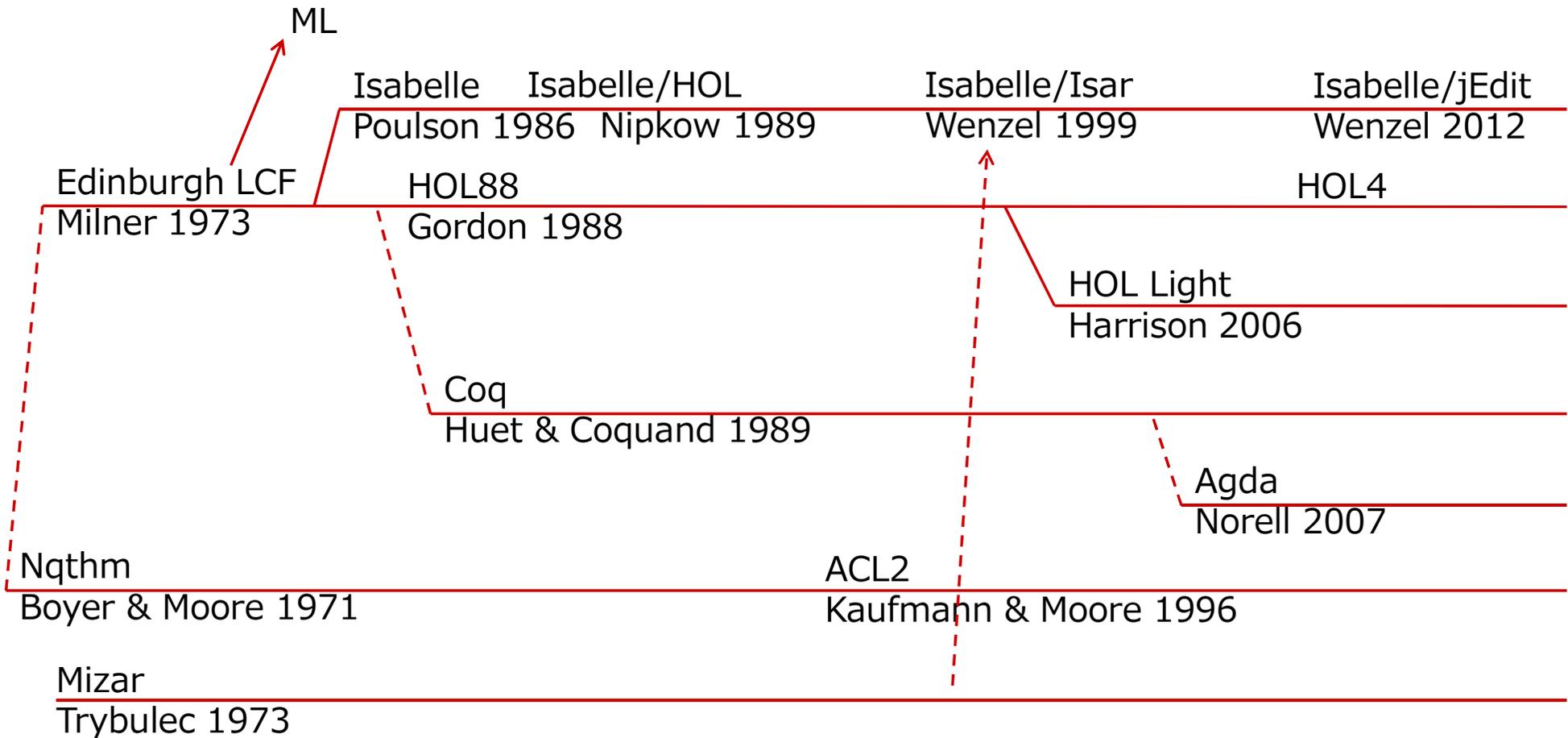
## ■ Windowsユーザーの方へ

- Cygwinが丸ごと付いて来ます!!

  - .../Isabelle2016-1/Cygwin-Terminal.bat

---

# 証明支援ツール系図



---

# Isabelleの特徴

- スマートな証明環境 (Prover IDE)
  - 自由な記法
  - 自動証明
    - simp, auto, meson, presburger, ...
    - sledgehammer
  - 証明 ≠ プログラム
    - プログラム"抽出" vs. "輸出" (code\_export)
  - 豊富なライブラリ
    - .../Isabelle2016-1/src/HOL/\*
    - Archive of Formal Proofs (<http://www.isa-afp.org>)
-

---

# 注意点

## ■ クセ

- ダブルクオート(")が多い … 本質ではない
- 自由すぎる記法 … グローバルな記法の導入は慎重に
- 同義語が多い … 覚えなくてよい
- 2段階のロジック … 無限でないだけマシ, 本質ではない

## ■ Isabelleは歴史が深い

- 掘れば遺構が出てくる … 掘らない

## ■ Isabelleは発展途上

- 互換性… … 保守性を意識した証明を
-

---

# 本日の計画

10:00 ----

Isabelleの基礎, ロジック: Pure & HOL

~小休憩~

関数定義, code export

12:00 ----

~昼休み~

13:30 ----

Isabelleによるプログラミングと証明(インサートソート)

+小休憩

15:00 ----

~休憩~

15:30 ----

クラス, ロケール

~小休憩~

17:00 ----

Archive of Formal Proofsの紹介, まとめ

---

# Theory (.thy) ファイル

PPL\_Summer\_School\_2017.thy

一致させる！

```
theory PPL_Summer_School_2017  
  imports Main  
begin
```

定義, 定理等...

```
end
```

使いたい定義, 定理などを読み込む.  
ベースにする公理系が決まる.  
(Mainの公理 = HOL + 選択公理)

# 定義と定理

- **definition** [定数名 [:: "型"] **where**] "左辺 = 右辺"

- 非再帰的

≡でも可

- **fun** 定数名 [:: "型"] **where** "左辺 = 右辺" | ...

- 再帰的

≡は不可

- 全域性, 停止性が自動証明 (失敗する場合 **function**)

- **theorem/lemma/proposition/corollary** 定理名:

"結論" [**and** ...]

〈証明〉

---

## 証明: Isar と apply

### ■ applyスクリプト (旧)

**apply** (rule my\_theorem)

**apply** (unfold my\_def)

**apply** auto

**done**

- トップダウン
- ゴールの変形を繰り返す
- 極力避ける
- 作業中はよく使う

### ■ Isar (新)

**proof-**

**assume** "xxx"

**then have** y: "yyy"

**by** (unfold my\_def)

**show** "zzz" **using** y **by** auto

**qed**

- ボトムアップ
  - 補題の積み重ね
  - 人が書く証明に近い
  - メンテしやすい
-

---

# Isabelleのロジック: Pure と HOL

## ■ Pure:

$x \mid \Phi \Rightarrow \Phi \mid \wedge x. \Phi \mid \Phi \&\&\& \Phi \mid \Phi \equiv \Phi \mid \lambda x. \Phi \mid \Phi \Phi$

- 直観主義的(?)
- Isabelleが(ほぼ)自動的に処理

## ■ HOL (Higher Order Logic):

$x \mid \phi \rightarrow \phi \mid \forall x. \phi \mid \phi \wedge \phi \mid \phi = \phi \mid \phi \vee \phi \mid \exists x. e \mid \text{True} \mid \text{False}$

- 古典論理, 表現力が豊か
  - 公理・補題を適用してPureレベルに変換する必要がある
-

---

# 实践

---

---

# 本日の計画

10:00 ----

Isabelleの基礎, ロジック: Pure & HOL

~小休憩~

関数定義, code export

12:00 ----

~昼休み~

13:30 ----

Isabelleによるプログラミングと証明(インサートソート)

+小休憩

15:00 ----

~休憩~

15:30 ----

クラス, ロケール

~小休憩~

17:00 ----

Archive of Formal Proofsの紹介, まとめ

---

---

# Archive of Formal Proofs

- Isabelle証明を集めた "Journal"
    - Number of Articles: 375
    - Number of Authors: 264
    - Number of lemmas: ~100,100
    - Lines of Code: ~1,675,000
  - 投稿するメリット
    - Isabelle開発者に保守責任
  - デメリット
    - 公開しなければならない
    - 変更はできるが、しづらい (他の人に使われる想定)
-

---

# AFPデモ

- Algebraic Numbers



---

## その他

### ■ Isabelleの生きる用途

- 論文書き: 証明を間違えるリスクがない
- ライブラリ開発 (簡潔な再帰構造を持つ)
- 自動解析ツールの Certification
  - 証明を見つけるのは大変, 見つかった証明をチェックするのは簡単
  - CeTA [Sternagel, Thiemann, et al. '09~]
  - "Efficient Verified (UN)SAT Certificate Checking" [Lammich '17]

### ■ Isabelleの(まだ)生きない用途

- **fun** はスケールしない (大規模プログラムに弱い)
    - cf. <https://sel4.systems/>
-

---

## メジャーな国際会議

- ITP: International Conference on Interactive Theorem Proving
    - 例年夏～秋開催
    - 2018年は7月にOxfordにて
      - <http://www.floc2018.org/>
    - 'Interactive'な要素が好まれる(?)
  - CPP: ACM SIGPLAN Conference on Certified Programs and Proofs
    - 例年1月開催 (POPLと共同), 投稿締め切り10月ごろ
-